

新里堅進原画展

マンガ原画の価値を、沖縄マンガ界の至宝・新里堅進の作品で学ぶ――

沖縄県出身・在住のマンガ家・新里堅進（しんざとけんしん）氏のマンガ原画（生原稿）を展示する展覧会を、その原画の保管を担っている沖縄県うるま市の施設「うるま市立海の文化資料館」において、開催します。近年、地元沖縄での半世紀にわたるその画業があらためて注目されている新里堅進氏。卓越した画力に支えられた、情念あふれる生原画の迫力を体感していただきたいと思います。なお、本展覧会は、文化庁「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」の一環として収集・保管されているマンガ原画を展示するものです。

展示構成

新里作品の原画のうち、2025年に「琉球新報ギャラリー」（沖縄県那覇市）および「京都国際マンガミュージアム」（京都府京都市）でも展示され、好評だった最新三部作「シュガーローフの戦い 日米少年兵達の戦場」（2015年）、「死闘伊江島戦」（2021年）、「ヤンバルの戦い 国頭支隊顛末記」（2024年～）の原画を、以下の2部構成で展示します。

第1部

上記三部作の原画より、選りすぐりの約60点を、作品解説などと共に展示します。

第2部

「ゲンガノミカタ（原画の観方）」と称し、どのような視点をもってマンガの原画を鑑賞したらいいか、新里作品の原画を事例に、10のポイントで解説します。

関連イベント

シンポジウム「沖縄の、沖縄による、沖縄のためのマンガアーカイブ」

新里堅進氏を招き、作家自身の、作品や原画への思いを聞くトークをメインに、マンガをアーカイブすること——作家の作品を、原画（生原稿）など制作工程の資料も含めて収集し、保管し、活用すること、とりわけ、作家自身の出身・在住地において、そうした活動が行われることの意義について考えます。

日時 | 2026年11月7日（土）13:00～16:30

会場 | うるま市立海の文化資料館

第1部 講演「マンガ原画を〈地元〉でアーカイブする」

13:05～13:45

出演：大石卓（一般社団法人マンガアーカイブ機構・代表理事／横手市増田まんが美術館・館長）

マンガ原画のアーカイブを「横手市増田まんが美術館」で実践し、その意義を発信してきた大石氏が、作者・作品と縁のある〈地元〉で、マンガ資料をアーカイブする意義を語ります。

第2部 対談「アーカイブの〈活用〉としてのマンガ展」

13:45～14:30

出演：表智之（北九州市漫画ミュージアム・学芸担当係長）／イトウユウ（京都精華大学国際マンガ研究センター・特任教授／本展キュレーター）

アーカイブされたマンガ資料を〈活用〉することで「マンガ展」を制作してきた2人のキュレーターが、その意義を語ります。

第3部 「新里堅進原画展」ギャラリートーク

14:30～15:00

「新里堅進原画展」を担当キュレーターが案内します。

第4部 トークショー「新里堅進、マンガを語る」

15:15～16:15

出演：新里堅進（マンガ家）／吉村和真（京都精華大学マンガ学部・教授／一般社団法人マンガアーカイブ機構・業務執行理事）

本展の出展作家である新里堅進氏に、作品制作や、自身のマンガ原画がアーカイブされること等について、その思いを聞きます。

※参加方法など、イベントの詳細は、決まり次第、うるま市教育委員会から情報を発信させていただきます。その他の関連イベントも計画中です。

新里堅進（しんざとけんしん）

1946年、沖縄県那覇市生まれ、在住。「沖縄決戦」（1978年）でデビュー。以降も、「ハブ捕り」（1982年、日本漫画家協会賞受賞）、「首里城ものがたり」（1992年）、「歴史まんが 琉球処分」（2008年）等、半世紀にわたって、沖縄を舞台にした作品を描き続けている。最新にして最大ボリュームの三部作、「シュガーローフの戦い 日米少年兵達の戦場」（2015年）／「死闘伊江島戦」（2021年）／「ヤンバルの戦い 国頭支隊顛末記」（2024年～）では、作者の原点である沖縄戦を、よく知られた戦記から、小さな村で起こったささいなエピソードまで、分け隔てない熱量で、徹底した文献調査と聞き取りを基に描く。2023年には、第46回「琉球新報活動賞」を、2026年は、作品集であり、藤井誠二氏による評伝でもある『ソウル・サーチン』（安東嵩史編集・注釈、リイド社）で第46回「沖縄タイムス出版文化賞」正賞を受賞。



しんざとけんしん「シュガーローフの戦い 日米少年兵達の戦場」
©しんざとけんしん／琉球新報社

うるま市立海の文化資料館

沖縄県うるま市与那城屋平4番地2階

【TEL】098-978-8831

【Eメール】kyo-umibun@city.uruma.lg.jp

お問い合わせ

メディア芸術コンソーシアムJV事務局

【担当】藤本

【受付時間】9:30～17:00（平日のみ）

【TEL】075-212-0560

【Eメール】media-aspect@aspectcore.co.jp

主催 | うるま市教育委員会

企画協力 | 琉球新報社／一般財団法人横手市増田まんが美術館

制作協力 | 京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター／メディア芸術コンソーシアムJV事務局

特別協力 | 文化庁令和8年度メディア芸術連携基盤等整備推進事業